転送電話サービス

●転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。
●すでに留守番電話サービスを開始しているときに転送電話サービスを開始すると、留守番電話サービスは停止されます。

転送先電話番号登録

転送先の電話番号を登録します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 付加サービス ➡ 転送サービス ➡ 転送先登録

転送電話番号入力➡◉

接続中のメッセージが表示されたあと、登録した転送先電話番号が表示されます。
●一般電話のときは、市外局番も必ず入力してください。

転送先として登録できない電話番号
●「1」から始まる電話番号（例：110、119、118など）
●「0120」から始まる電話番号（フリーダイヤル）
●「0990」から始まる電話番号（ダイヤルQ2など）

転送電話サービス開始

転送電話サービスを開始します。

■あらかじめ転送先の電話番号を登録しておいてください。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 付加サービス ➡ 転送サービス ➡ 転送開始

「1あり」（着信音を鳴らす）／「2なし」（着信音を鳴らさない）選択➡◉

接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。
●「2なし」は、関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合に限りご利用になれます。

転送電話サービス停止

転送電話サービスを停止します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 付加サービス ➡ 秘書停止

「1YES」選択➡◉

接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。

転送電話サービス設定確認

転送電話サービスの設定状況を確認します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 付加サービス ➡ 秘書確認

「1YES」選択➡◉

設定状況に応じて、確認画面が表示されます。

転送電話サービス開始後に着信があると

■ 着信音が鳴っている間に[通話キー]を押すと、そのまま通話できます。
●転送時の着信音を「**なし**」にしているときは、着信音は鳴らず、転送先に転送されます。（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）

留守番電話サービス

別途お申し込みが必要です。

- 留守番電話サービスで利用できる機能などの詳細は、「**サービスガイドブック**」を参照してください。
- 留守番電話サービスと転送電話サービスを同時に利用することはできません。
- すでに転送電話サービスを開始しているときに留守番電話サービスを開始すると、転送電話サービスは停止されます。

留守番電話サービス開始

留守番電話サービスを開始します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 付加サービス ▶ 留守番サービス

「1あり」（着信音を鳴らす）／「2なし」（着信音を鳴らさない）選択▶◉

接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。

- 「**2なし**」は、関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合に限りご利用になれます。

留守番電話サービス開始後に着信があると

■ 着信音が鳴っている間に通話キーを押すと、そのまま通話できます。

- 転送時の着信音を「**なし**」にしているときは、着信音は鳴らず、留守番電話センターに転送されます。（関東・甲信／東海／関西地域でご契約され、関東・甲信／東海／関西地域でご利用の場合）

■ 相手が伝言メッセージを入れると、V302SHに「1416」が表示されます。

留守番電話サービス停止中に着信があると（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）

■ 着信中に◉PWRの順に押すと、その着信に限り留守番電話センターに転送されます。（留守番電話サービスは停止のままです。）

■ 留守番電話センターに転送できなかったときは、確認メッセージが表示され、着信中の画面に戻ります。

■ サイドキー設定の着信時の動作（☞P.12-3）を「5 **留守電センター転送**」にしているときは、着信中にⓈを長く（1秒以上）押すと、留守電センター転送が行えます。

留守番電話サービス停止

留守番電話サービスを停止します。

メニュー ▶ ファンクション ▶ 付加サービス ▶ 秘書停止

「1YES」選択▶◉

接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。

留守番電話サービス設定確認 留守番電話サービスの設定状況を確認します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 付加サービス ➡ 秘書確認

「1YES」選択➡◉

設定状況が表示されます。

伝言メッセージ再生 留守番電話センターに入っている伝言メッセージを確認します。

メニュー ▶ ファンクション ➡ 付加サービス ➡ 留守録再生

「1YES」選択➡◉

● 留守番電話センターに接続後は、アナウンスに従って、操作してください。

■ メッセージの確認を終了する：PWR

「1416」はV302SHから伝言メッセージを聞いたときに消えます。（一般電話から伝言メッセージを聞いたときは消えません。）

転送電話／留守番電話の呼出し時間設定

東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合は、ご利用になれません。

転送電話サービスまたは留守番電話サービスを開始しているときに、V302SHにかかってきた電話が転送されるまでの時間（V302SHの着信音が鳴る時間）を５～30秒（５秒単位）の間で設定できます。

●電波の届かない場所やご契約いただいた地域以外のサービスエリアでは設定できません。また、一般電話からも設定できません。

●着信音を鳴らさないようにしているときは、ここでの設定は無効になります。（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）

呼出し時間設定 転送電話／留守番電話の呼出時間を設定します。

お買い上げ時 20秒

メニュー ▶ ファンクション ➡ 付加サービス ➡ 呼出時間設定

呼出し時間選択➡◉

接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。

転送電話サービスまたは留守番電話サービスをV302SHの簡易留守録（☞P.12-4）と併せてご利用になるときは、呼出し時間の設定により、優先順位が変わります。

例：各サービスの呼出し時間…10秒
簡易留守録の呼出し時間…９秒

上記のように設定すると、簡易留守録が優先されます。（ただし、電波状況により優先順位が変わることがあります。）

また、簡易留守録を優先していても、録音件数が一杯になると留守番電話サービスが優先されます。